

■ 将来のために、いま企業がなすべきこと

CSRは企業の行動基準そのもの 企業がCSRをすすめることを社会は求めています

昨年あたりから、CSR(企業の社会的責任)という言葉が経済界をはじめとして各方面で注目を集めています。もともと企業がその事業活動を行なう上で、社会の公器としての役割、社会的責任を果たさなければならないという考え方は昔からありました。しかし、近年における経済活動のグローバル化、IT革命による情報化、また市民社会の成熟化に伴う消費者意識の変化など、市場経済の発展に伴い、企業に対する社会の要請が多面的なものになってきています。

現在提唱されているCSRは、従来の一般的な意味での社会的責任という概念をさらに発展させ、企業が社会とともに持続的に存続するための不可欠の要素、いわば企業の行動基準そのものといえるでしょう。世界的な競争のなかに置かれている企業が、お客様、株主、取引先、従業員などのあらゆるステークホルダーに対して、どのように行動したのか、そしてその結果ステークホルダーを含めた社会全体から信頼される存在になれるかどうか、その企業の持続可能性(サステナビリティ)を左右する時代になっています。言い換えれば、CSRに前向きに取り組んでいる企業は、すべてのステークホルダーから高く評価され、社会から信頼を得ることにより、必ず本業における成果(=業績)をあげることができると確信しています。

CSRは企業の業績につながることを実証していくのが これからの金融機関の役割です

CSRを考える時、「将来のために自分たちがいまなすべきことは何か」という視点が重要です。大和証券グループが積極的に支援している若い世代への経済教育もこうした考えにもとづいています。社会は共存共栄であり、相手の利益を考えなければ自分の利益にもつながらないという意味で、経済教育は道徳教育、倫理教育に通じるものであり、経済の原理原則を知ることが、生きる力や、やりがいにつながると考えています。そうした経済教育を通して青少年の道徳観や倫理観を育むことが、将来の経済、社会の活力を生み出す原動力になります。

また大和証券グループでは、本業におけるCSR活動の一環としてSRI(社会的責任投資)に取り組んでいます。代表的なものはSRIファンド(投資信託)ですが、これは社会のためになる企業に直接的に投資するものだという満足感が、お客様はもちろん販売する従業員にもあるのではないのでしょうか。そうした満足感に加えて、よりよいパフォーマンスをあげられるという相乗効果が生まれることにより、SRIファンドの規模は拡大していくでしょう。また、SRIファンドに組み入れられていることが企業の評価尺度になっていけば、企業側のCSRに対する意識もますます高まり、ひいては将来の日本経済の持続的な発展につながると思います。

CSRに熱心に取り組む会社は業績もよく、市場から評価されるという仕組みづくりを行なっていくことが、これからの大和証券グループの役割だと確信しています。

株式会社大和証券グループ本社
取締役会長

原良也

■ 信頼される大和証券グループを目指して

■ 真のプロフェッショナリズムを 確立している会社を目指す

本年6月に大和証券グループ本社は委員会等設置会社へ移行し、同時に私が執行役社長に就任いたしました。

私が経営において理想と考えていることは、大和証券グループがお客様と社会に信頼され、すべてのステークホルダーにとって必要不可欠な会社となることです。お客様との日常の接点においては、まず窓口となる一人の従業員の対応が重要であり、お客様にとっては、従業員個人に対する信頼感がそのまま大和証券グループに対する信頼感になります。したがって、従業員一人ひとりが、お客様と社会に信頼され必要とされるために何をすればよいかを常に考えて行動することが必要です。

お客様の立場に立ち、お客様のニーズを先取りした商品・サービスの提供に努め、お客様にとって欠かすことのできないアドバイザーとしての役割を果たすことはいうまでもありません。また、私ども証券業は、価格変動のあるリスク商品を取り扱っている性格上、お客様との十分なコミュニケーションが信頼関係の構築のための必須条件です。それを実現するために、すべての従業員が、高潔な職業倫理と公正な行動規範にもとづき、業務知識や技能面にとどまらずすべての面において真にプロフェッショナリズムを確立している会社になりたいと考えています。

■ CSRの推進によりお客様と社会に 信頼される大和証券グループを目指す

こうした基本認識のもと、私は、原前社長が推進してまいりましたコーポレート・ブランド、CSR重視の経営路線を受け継ぎ、今後さらに発展させていきます。CSRには、お客様への優れた商品・サービスの提供と誠実な対応、株主への適切な利益還元と情報開示、従業員への労働環境・人事評価上の施策、そして法令遵守・企業倫理の確立、環境マネジメント、社会貢献活動など、実にさまざまな側面があります。私は、そのすべてについて、「社会から信頼されるかどうか」という視点で考えます。

当社では本業におけるCSR活動の一環としてSRIファンドを販売していますが、予想以上に販売実績が上がっています。このようなお客様や社会のニーズにあった商品を今後も提供していくことが、大和証券グループの社会的使命であるとともに、当社グループの持続的発展にもつながることと考えています。企業理念で謳われている高い専門能力とチャレンジ精神を発揮し、今後もお客様のためになる新商品・新業務の開発・導入をすすめていきます。

本年7月には、これまでの施策を進展させ、CSRをさらに経営の仕組みに活かしていくことを目指し、CSR室を設置しました。「CSR経営は従業員を元気付け、社会のためになる」ことを確信し、今後も積極的に取り組んでいきます。

お客様と社会にさらに信頼される大和証券グループを目指して、私どもは新たな一歩を踏み出します。

